

第3回幼稚園臨時的任用研修会（特別支援教育支援員等対象）

去る9月9日（水）に開催された第3回幼稚園臨時的任用研修会は、特別教育支援員、特別支援教育補助員等並びに学級担任を対象として実施しました。

沖縄県立島尻特別支援学校の島袋聡教頭を講師に「特別な支援を必要とする幼児の理解と支援」について、特別支援教育の基本理念や障害観の変化、各障害の特性やその理解のポイントを具体的な例を示しながらの講義をいただきました。

その後、日々の実践の課題等についてグループごとに協議が行われました。

特別支援教育コーディネーターの先生方や島尻特別支援学校幼稚幼児部の先生方がファシリテーターとして、グループ協議をリードして下さいました。明日からの実践に役立つ充実した研修会となりました。



写真1 講話中の島袋聡 教頭



写真2 グループ協議

【研修会の概要】

- 1 開会
 - (1) 開会のことば
 - (2) 所長のあいさつ・講師紹介 島尻教育研究所長 上原雅志
- 2 講義及び協議
 - (1) 講話
「特別な支援を必要とする幼児の理解と支援について」
講師 島袋聡（県立島尻特別支援学校 教頭）
 - (2) グループ協議グループ協議
「特別な支援を必要とする幼児の具体的な対応について」
- 3 お礼のことば 受講生代表 湧川なぎさ
- 4 閉会のことば

【講義の概要】 島袋聡（県立島尻特別支援学校 教頭）

- 1 特別支援教育とは
- 2 様々な障害の理解
- 3 指導・支援の実際
- 4 おわりに

グループ協議のファシリテーター

- 1 グループ 真玉橋初子（八重瀬町教育相談員）
- 2 グループ 城間律子（糸満市特別支援コーディネーター）
- 3 グループ 城間敦子（与那原町特別支援コーディネーター）
- 4 グループ 渡嘉敷方希（島尻特別支援学校幼稚部教諭）
- 5 グループ 仲嶺けい子（島尻特別支援学校幼稚部教諭）
- 6 グループ 仲間エミ子（南風原町教育相談員）
- 7 グループ 島袋聡（島尻特別支援学校教頭）
- 8 グループ 新崎毎子（南城市特別支援教育コーディネーター）

研修後の感想（アンケートから）

- 講話の中であった、「話を聞く」「子どもを好きになる」「子どもに好きになってもらう」「将来をイメージして、今出来ることをみつめる」という事を大事に心に落とし込みましたと思いました。
- 講話から、子ども理解、保護者の気持ち理解の大切さを改めて感じました。資料もとてもわかりやすく、明日からの保育に生かして、頑張りたいという気持ちになりました。感動しました。
- グループ協議の中で、支援員は常に対象児の側にいるのではなく、支援のフェードアウトも大切だとファシリテーターの先生から伺い、とても勉強になりました。
- ファシリテーターのお話を伺い、たくさんほめてあげようと思いました。「静かにできたね」「座れたね」と、当たり前なことでも、できたらほめてあげたいです。いろんな体験をたくさんさせて、出来る事を増やしてあげたいです。
- 同じ肢体不自由児を担当する支援員がグループ分けされていて、課題や悩みも共感し合うことができ、とても勉強になりました。ファシリテーターの先生から実際の支援の話がたくさん聞け、とても良かったです。